

消費者の権利と責任②(オンラインゲーム課金)

京都府消費生活安全センター

学年 組 番 氏名

1 消費者トラブル事例3の(1)～(6)の行動について、(1)～(4)は、トラブルにならないために気を付けることを、(5)～(6)は、相談や要望をする時に気を付けることを考えましょう。

<事例3>

子供が親の名義のクレジットカードでオンラインゲームに高額な課金をしていた。スマホにクレジットカードは登録していなかったが、カード会社から「高額の利用がある」と連絡があり、利用先がオンラインゲームであることがわかった。利用金額は合計で約40万円になるが、親に無断で課金していたので返金してもらいたい。

<p>(1) オンラインゲームを始める前に、年齢の確認と利用規約に同意するか確認があった。</p> <p>知らされる権利</p> <p>選択する権利</p> <p>批判的意識をもつ責任</p>	<p>(2) 面白そう！無料だったので、親の許可を得ずに利用した。</p> <p>批判的意識をもつ責任</p>	<p>(3) アイテムが欲しくてポイントと交換した。</p>  <p>批判的意識をもつ責任</p>	<p>(4) もっと強いアイテムが欲しくなった。ポイントを使っていたら、ポイントの代金が親のクレジットカードから引き落とされていた！</p> <p>主張し行動する責任</p>	<p>(5) 請求金額は40万円にもなっていた。支払えないので消費生活センターに相談した。</p>  <p>主張し行動する責任</p>	<p>(6) 高額なアイテムは自分では買えない。課金をしなくても楽しめるようなゲームを作してほしいとゲーム会社に要望をした。</p>  <p>意見が反映される権利</p> <p>主張し行動する責任</p>
<p><気を付けること></p>	<p><気を付けること></p>	<p><気を付けること></p>	<p><気を付けること></p>	<p><気を付けること></p>	<p><気を付けること></p>

2 トラブルにあわないために、どうしたらよいか、記入しましょう。

3 消費者の権利と責任について、わかったことを記入しましょう。